

トーク&トーク

ヴィカース・スワループさん

■在大阪・神戸インド総領事



ヴィカース・スワループ 1961年アラバハ生まれ。86年省入省。2009年8月現職。米賞「スリミリア」の作者。

6月末で離任することになった。米誌への寄稿で「最もスタイリッシュな街」と紹介した神戸で、日本での3年半を振り返る機会を与えられたことに感謝したい。日本での経験は新たな発見の連続だった。日本は複雑で矛盾に満ち、反発と調和が共存している。都市と自然、城とパチンコ、高層ビルと滝、

第2のふるさと日本

②日本のことをどのようになっていますか。その部分に線を引きましょう。
③日本人のことを西洋人と比較して述べているところに線を引きましょう。

印日関係、最良のとき

に加え、複雑な歴史と多様性を持ち、非常にユニークな国だ。一方、日本は対照的に、統一感にあふれた素晴らしい文化を持ち、これまたユニークさにあふれている。聞いた意見だが、西洋人はデジタル、日本人はアナログという。西洋人は個人にとつてのメリットを優先し、他人によって自分の価値が決まるわけではない。他方、日本人は社会の中でこそ生きることができて、他者との関係に価値があると考えるようだ。また、考えられるすべてのものに科学技術が使われ、ものづくりの技術も世界一だ。ソフトパワーにも驚嘆させら

①インドの人口は？
④ほかに、日本について、どんなことが良いところだと言っていますか。

学校名)

年 名前)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。